

NPO法人 たぬまアスレチッククラブ

令和5年度 通常総会

令和5年5月29日（月）

午後7時00分～

田沼中央公民館

○ 開 会

○ 定数確認

○ 議事録署名人指名 亀田トミ江 理事 浅野政幸 理事

1 理事長あいさつ

2 議長の選任

3 報告事項

報告第1号 令和4年度事業報告

4 認定事項

認定第1号 令和4年度収支決算

認定第2号 令和4年度監査結果

5 審議事項

議案第1号 令和5年度法人役員の選任

議案第2号 令和5年度活動方針(案)

議案第3号 令和5年度事務局職員労働条件

議案第4号 令和5年度収支予算(案)

6 連絡事項、その他

(1) 第12回「絆」リレーワンテンス・ハーフマラソン&親子ふれあいキッズファ
ンラン大会の開催について

(2) 第14回ゴルフ大会の概要と参加者募集について

(3) 中学校部活動の地域移行・地域クラブ化について

(4) 賛助会員の募集について

(5) 事務局員事務分掌について

(6) 室伏広治スポーツ庁長官講演会共催について

(7) 子どもの体力向上（体幹トレーニング）に関する研修会について

(8) その他

○ 閉 会

報告第1号

令和4年度特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ 事業報告

I 会議関係

1 監査会

令和4年4月23日（土）於 TAC事務所 監事2名出席、事務局2名出席
・令和3年度の会計監査を実施した。

2 理事会

（1）第1回理事会（定数10名 出席理事9名）

令和4年5月2日（月）於 田沼中央公民館
・理事会（総会）提出議案の内容について協議した。
・第1四半期の事業について共通理解を図った。
・中学校部活動の地域移行に係る業務受託に関する進捗状況を確認した。

（2）通常総会（第2回理事会・第1回運営委員会）

令和4年5月16日（月）於 田沼中央公民館
正社員29名（理事・監事・運営委員）出席社員21名 委任社員8名 合計29名
・令和3年度事業及び収支決算を認定し、令和4年度事業計画及び収支予算について協議し承認を得た。尚、傷害保険について損害賠償に対応出来るようにするため、全ての会員がスポーツ安全協会保険に加入することとし、これまでの傷害保険との差額として大人会員1千円、子ども会員5百円の会費値上げをすることにした。また、事業の英会話教室「英語ではなそう」を中止し、新たに子どものミニバスケットボールに、大会への参加を目的としたチームを創設した。尚、チームはASONOミニバスクラブを継承することとした。

（3）第3回理事会

令和4年9月5日（月）於 田沼中央公民館 理事10名全員出席
・栃木県スポーツ協会クラブアドバイザーがオブザーバーとして出席した。
・絆リレーワンテンス・ハーフマラソン&親子ふれあいキッズファンラン大会の結果報告及び収支決算を報告、承認を得た。
・TACゴルフ大会の結果と収支決算を報告、承認を得た。
・令和3年度の特定非営利活動法人事業報告書の承認を得た。
・8月末日現在の会員数及び収支決算の現況報告を行った。
・田沼東中学校の「地域部活動」について、その実態と進捗状況を報告した。
・令和4年度後期事業の概要を説明し意見交換を行った。

（4）第4回理事会

令和5年1月23日（月）於 田沼中央公民館 理事9名出席
・第3四半期の会員数及び収支決算の現況、助成事業の進捗状況、奨励費の運用現状の報告を行った。
・令和5年度日本スポーツ振興センター助成事業に、絆リレー大会と新規に小学生軟式野球親善大会を申請することについて協議し、申請手続きに入ることの承認を得た。

- ・令和5年度日本スポーツ振興センター助成事業申請にあたり、スポーツ団体ガバナンスコードに基づく登録・自己説明について協議し、その内容の承認を得た。
- ・令和5年度新規事業として、小学4、5年生を対象にした算数教室及び小学生のサッカーチームを開設する事について協議し開設することの承認を得た。
- ・令和5年度の安足SCフェスタについて、10月15日にDAIKYOアリーナ佐野を主会場として佐野市スポーツ少年団との共催事業で、体験的な活動を通し新規会員の獲得につなげる活動を中心に計画することを説明し承認を得た。
- ・令和5年度の予算編成について協議した。

ア 奨励費の負担額が増加している。特に大会参加を支援する交通費で、受益者負担しているチームと支援を受けているチームがあり公平性を欠いている。交通費は受益者負担にすることにする。

イ 登録料、参加料はこれからも支援を継続する。

ウ 指導者謝金の規定は全ての講座に適応させる。

を決定・確認し、各講座の運営委員に周知徹底して令和5年度の予算編成を行うこととした。

(5) 第5理事会

令和5年2月13日(月) 於 いっちょう佐野田沼店 理事10名出席

- ・第4四半期の会員数及び収支決算の現況、助成事業の進捗状況の報告を行った。
- ・令和5年度スポーツ振興センター助成(サッカーくじ助成)申請概要を報告し承認を得た。
- ・令和5年度活動方針について協議した。令和5年度は新たに子どものサッカーチームを創設する。既存のサッカーチーム葛生FCが、葛生義務教育学校の発足に伴い活動拠点を失うことから当法人の新たなチームとして発足することについて協議し承認を得た。
- ・中学校部活動の地域移行に関しては、令和5年度はスケジュールにより、田沼東中学校とあそ野学園義務教育学校の合同部活動に指導者を派遣する。地域クラブ化に向けては行政及び中学校関係者が慎重な態度であり時間を要する。生徒と地域の指導者ともに十分満足する活動にはまだまだ遠い道のりだが、子どもを中心にした支援を着実に実践する。
- ・会員募集パンフレットを制作するにあたり賛助金を募り制作費に充てることについて前年度に増した協賛が得られるように努める。また、ホームページやリンカーベルによる情報提供を充実させ、コロナ禍以前の会員数獲得に努める。

3 運営委員会

(1) 第1回運営委員会 運営委員11名出席

- ・第2回理事会・第1回運営委員会(社員総会) 参照

(2) 第2回運営委員会 運営委員10名出席

- ・第5回理事会参照

II その他の会議 等

1 田沼ライオンズクラブ 例会

期日 5月12日(木) 午後7時～

会場 田沼中央公民館

期日 令和5年3月2日(木) 午後7時～
会場 田沼中央公民館
内容 田沼ライオンズクラブの例会に出席し、令和5年度の当法人の活動現況及び計画について報告し、絆りレーワンテンスハーフマラソン&親子ふれあいキッズファンラン大会の概要を説明し、協賛金の贈呈を受けた。

2 佐野市立田沼東中学校の「地域部活動」推進に関する会議 等

(1) 推進研修会

ア 第1回研修会 5月11日(火)午後7時～ 於 田沼東中学校

- ・田沼東中学校の代表指導者と派遣する地域指導者との初会合
- ・指導方針、指導内容、生徒の実態 等の情報交換

イ 第2回研修会 1月27日(金)午後6時30分～ 於 田沼東中学校

- ・活動状況の意見交換
- ・学校指導者との情報交換
- ・本年度の活動の振り返りと課題整理(評価)

(2) 連絡会議 等

ア 第1回連絡会議 4月13日(水)午前11時～ 於 田沼東中学校

- ・派遣する地域指導者の内諾状況について
- ・第1回推進研修会について
- ・清水武治理事長が出席

イ 佐野市教育委員による実態視察 10月8日(土)午前10時～

- ・地域指導者が指導する様子を視察した。
- ・清水武治理事長が対応

ウ 第2回連絡会議 令和4年1月24日(木)午前10時～ 於 田沼東中学校

- ・事業の評価、アンケート調査についての情報交換
- ・清水武治理事長が出席

3 安足地区総合型地域スポーツクラブ連絡協議会関係

(1) 安足地区総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(清水武治理事長が出席した)

令和4年7月24日(金)午後2時～ 於 安足教育事務所

- ・安足地区総合型SCフェスティバル開催について協議した。

開催日 11月27日(日)

会場 足利市民体育館 他

- ・安足地区総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催について協議した。

開催日 12月16日(金)午後2時～

会場 DAIKYO アリーナ佐野

内容 持続可能な総合型地域スポーツクラブについての研修とした。

(2) 安足地区SCフェスタ打ち合わせ(清水武治理事長が出席した)

令和4年10月18日(火) 於 安足教育事務所

- ・安足地区SCフェスタの実施について協議した。

開催日を足利市の都合により、12月11日(日)に変更した。

(3) 安足地区総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会

開催日 12月16日(金)午後2時～ 清水理事長 儀同クラブマネージャー

蓼沼貞司・片山武夫副理事長、川鍋日出子理事出席

会場 DAIKYOアリーナ佐野

内容 持続性のある総合型地域スポーツクラブの運営について、下野市の夢クラブ国分寺クラブマネージャー 欽也氏の講話とグループ協議を行った。

4 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に関する会議

(1) 第1回栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会

開催日 5月7日(土)午前9時30分～ 清水武治理事長 出席

会場 栃木県総合運動公園合宿所

内容 ア スキルアップセミナー

内容 スポーツ活動におけるウォーミングアップの効果に関する講話

イ 県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会

令和3年度の事業・決算報告、令和4年度事業計画・予算案 等

(2) 第2回栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会・スキルアップセミナー

開催日 12月4日(日)正午～ 清水理事長 出席

会場 栃木県総合運動公園合宿所

内容 ・ 令和5年度の関ブロネットワークアクションについて
・ 登録期間、登録料変更について

5 関東ブロッククラブネットワーク2021

開催日 11月12日(土) 午前9時～ 清水武治理事長 蓼沼貞司・片山武夫副理事長

横田 誠理事 儀同美和子サブクラブマネージャー出席

会場 つくば市 つくば国際会議場

内容 ・ 運動部活動改革について、スポーツ庁担当者からの説明
・ 事例発表 つくば市における、中学校部活動の地域クラブ化への実践

6 SC全国ネットワーク(総合型地域スポーツクラブ全国協議会)総会

開催日 令和5年2月20日(月)

内容 ・ 令和4年度から始まった登録制度の実態説明
・ 令和5年度スポーツ庁関係予算の説明
・ 学校運動部活動と総合型地域スポーツクラブとの連携についてスポーツ庁説明

III スポーツ教室

3B体操 エアロビクス(水・木コース) ヨガ 吹き矢 ラージボール卓球 リズム&ステップ
ソフトバレーボール かけっこ 駅伝 ミニバスケット ジュニアゴルフ ジュニア体操
ティーボール 中学生軟式野球 バレーボール(小学生) サッカー(成人) サッカー(ス
クール) 学童野球 レスリング 和太鼓 中学生卓球 ミニバスケット(ASONO)

各講座週1回 年間35回開講、ジュニアゴルフは(毎月第2,4火曜日の週2回開講)を計画した。コロナウイルス感染拡大の影響が終息していないところだったが、令和4年3月22日に自粛措置が解除されたことで、感染防止対策を徹底しつつほぼ計画通りの活動が出来た。

IV 交流会、交流大会

1 桜を見る会 ハイキング

○ 令和4年度初めて開催した。

- ・開催日 令和4年4月2日(土) 午前10時～
- ・参加者 活動会員63名参加
- ・開催経費 参加賞(団子、いもフライ)として 29,399円 支出

2 第11回 絆リレーワンテンス・ハーフマラソン&親子ふれあいキッズファンラン大会

○ 事前会場整備

- ・期 日 令和4年6月4日(土) ・協力者 駅伝指導者等 10名
- ・内 容 会場設営、参加賞の準備 等

○ 大 会

- ・令和4年6月5日(日) 於 旗川河川敷
- ・参加者 絆リレー 34チーム185名 ファンラン 44ファミリー129名

3 ゴルフ大会(第13回大会)

令和4年7月5日(火) 於 足利カントリークラブ多幸コース 65名参加

- ・コロナウイルス感染が心配されるので、ゴルフ場の要望を受け、終了後の表彰式・パーティーを行わずハーフコンペ形式で開催した。
- ・表彰は通常の成績とともに、10位とび賞を贈呈した。
- ・決算

収入 参加者賛助会費 65,000円 支出 賞品提供者手土産 2,114円
切手代 8,554円

残余金 54,332円

協賛 いちひこ帆布様 帆布製のマスクケース10点

長瀬産業 亀田トミ江様 コーヒーセット10点

4 バスハイキング

- ・11月6日(日) 於 ハッ場ダムと吾妻溪谷ハイキング 43名参加

・決算

収入 参加者会費 5,000 × 43 = 215,000円

支出 旅行業者支払い 149,690円 (バス代、高速料金、保険料 + 税)

車内ビンゴ大会景品費 24,760円

事前踏査費用 11,000円

施設管理者土産 4,570円

残余金 24,980円

V その他の活動

- 1 3 B体操栃木県支部交流会
 - ・11月12日(土) 13時30分～ 於 県立日環サブアリーナ栃木 12名参加
- 2 田沼東中学校・あそ野学園義務教育学校 部活動の合同による地域移行に関する打合わせ
 - ・令和5年3月22日(水)午前10時45分～ 於 田沼東中学校
 - ・清水武治理事長が出席した。
- 3 佐野市運動施設利用調整会議
 - ・令和5年1月26日(水)午後7時00分～ 於 佐野市勤労者会館
 - ・清水武治理事長が出席した。
- 4 佐野市スポーツ協会三好支部 体育施設夜間開放調整会議
 - ・令和5年3月23日(木)午後7時00分～ 於 DAIKYO アリーナ佐野
 - ・清水武治理事長が出席した。
- 5 青色回転灯防犯パトロール
 - ・4月～3月まで実施 毎週水曜日 午後3時～ 1時間程度旧田沼町内を巡回
 - ・隊員 18名を5班編成にして実施。
 - ・青色回転灯を装備した車両 3台登録

令和4年度 収支決算報告

収支概況

1 はじめに

令和4年度の収支決算は、コロナウイルス感染症の影響が多少残り、会員数は子ども会員は増加したものの大人会員の減少は引き続いている。会費収入は予算額を若干上回った。

活動自粛要請や施設の使用休止措置が発出されることなく、計画した35回の活動回数を多くの講座で展開出来たが、夏季の猛暑でこの期間の活動を見合わせた講座もあり講師謝金の支出が減少した。

賛助会員、寄付金において予算を上回る支援者があり資金面で助けられた。

2 収入実績

受取会費 全会員が傷害と賠償責任に対応出来る「スポーツ安全保険」に加入することにして、従来の保険料との差額負担をお願いし、会費の値上げをおこなった。(大人1,000円、子ども500円値上げ)

賛助会費 これまで継続的に賛助いただいて来たスティヤングスポーツスクール各講座の会員や役員等に加え、ベースボール会員保護者や関係企業からの協賛が得られ、予算額を大きく上回る賛助金を得られた。

受取助成 スポーツ振興くじ助成金628,000円 佐野市スポーツ協会 20,000円
伝統文化親子教室 276,610円 ほぼ予算通りの助成金を得られた。

寄付金 絆リレー運営に匿名で100,000円、ジョキング指導者の皆さんから150,000円

委託費 田沼東中学校の部活動地域移行に関わる活動費の内、管理費と人件費として371,613円の委託費収入があった。

3 支出実績

ア 事業費

人件費 指導者謝金は、夏季の講座休止等で一部講座で開催回数が減少し、対予算比96.7%の支出だった。
講座運営スタッフとサッカー帯同審判員謝金はほぼ予算通り。
会議出席者に対する謝金に関しては、地域部活動に関する内容の研修が多く、複数の役員に積極的に参加していただいた事で予算を上回った。

事業運営費 絆リレー運営費の法人負担金(協賛金、参加料、寄付金を除いた額)は、971,506円で、この内628,000円をスポーツ振興くじ助成金で補った。
また、匿名での大会運営費100,000円の寄付があり負担額は、243,506円となった。

印刷費 会員募集用パンフレットの印刷費は、会計処理上令和5年度決算で処理します。

旅費・交通費 多くのチームが県大会参加資格を得たことにより予算額を上回った。
また、3B体操の栃木県交流会に会員を派遣、借上バスの手配を行った。

消耗品費 各講座の要望を踏まえスポーツ用具の配置を行った。また、バレーボール、中学校野球のユニフォームを新調した。各講座の要望を出来る限り満たしたことにより対予算比241%の支出だった。

保険料 本年度から全ての会員がスポーツ安全協会のスポーツ安全保険に加入した。

奨励費 各チームの活動が充実するに伴い、多岐にわたる競技団体への登録料が発生し、予算額を上回った。

イ 管理費

人件費 事務局員謝金は、ほぼ予算の範囲内で収まった。

その他の経費 全体的に節約に努めほぼ予算額を下回る決算を行うことが出来た。

4 剰余金

前年度繰越金	1,139,351 円
当期正味財産増減	▲129,670 円
次期繰越額	1,009,681 円

5 総評

本年度の収支決算は、コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくなり、会費収入、賛助会費、協賛金、寄付金が増え、公的助成も予算額を確保出来たことで、コロナ禍前の収入額に近づいた。活動面では、例年になく猛暑の影響を受けスティングスポーツ教室で活動を休止する講座があり経費が減額となった。

令和5年度は、コロナウイルス感染症の対応が大きく軽減され、会員数の回復に期待が高まる。会員数が700名を超えることも予想される。

しかし、夏の暑さや全般的なスポーツ離れ、諸物価の高騰など、法人運営の環境の厳しさに変わりはなく、創設15周年を迎え尚一層堅実なクラブ運営を図る必要がある。

令和4年度 NPO法人 たぬまアスレチッククラブ収支決算書

(収 入)

科 目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘 要	備 考
1 受取会費 (単位：円)					
正会員受取会費	5,850,000	6,000,500	150,500	大人会員287名(13,000円) 3,763,000円 子供会員364名(6,500円) 2,237,500円	後期会費に減額制度有
賛助会員受取会費	200,000	513,524	313,524	会員94名 ゴルフ大会参加者賛助金(54,332円)	
パンフレット作成協賛金	250,000	350,000	100,000	29事業所より	
2 受取助成金					
スポーツ振興センター	628,000	628,000	0	スポーツ振興くじ助成金(絆リレー)	
文化庁助成金	290,000	276,610	▲ 13,390	伝統文化親子教室助成金	
民間助成金	120,000	81,000	▲ 39,000	佐野市スポーツ協会(20,000円) 県レスリング協会(51,000円) 他	
3 その他の収益					
受取利息	9	27	18	預金利子	
事業雑収益	40,000	28,980	▲ 11,020	ハイキング教室残余金 3B体操交流会会員外2名の負担金(4,000円)	
寄付金	0	250,000	250,000	絆リレー大会運営寄付金(100,000円) 有志寄付金(150,000円)	
その他の雑収益	60,000	165,444	105,444	市スポーツ教室受託費(40,000円) 前年度傷害保険料清算(26,600円) 佐野市スポーツ少年団事務局費(50,000円) 他	
4 委託費	341,640	371,613	29,973	田沼東中学校地域部活動委託費(管理費、人件費)	
5 前期繰越金	1,139,351	1,139,351	0	前年度繰越金	
合 計	8,919,000	9,805,049	886,049		
今期収入額 8,665,698					

(経常費用)

(単位：円)

事業費

科 目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘 要	備 考
1 人件費					
講座指導者謝金	2,715,000	2,629,000	▲ 86,000	各講座指導者謝金	
運営スタッフ謝金	525,000	541,500	16,500	各講座運営スタッフ謝金	
サッカー審判員派遣費	80,000	88,000	8,000	サッカー県リーグ帯同審判員謝金	
その他の謝金	20,000	93,750	73,750	全国・関東・県・安足各SC協議会参加謝金 会議出席者謝金	
人件費計	3,340,000	3,352,250	12,250		
2 その他の経費					
事業運営費	916,000	1,033,886	117,886	絆リレー大会運営TAC負担額 971,506円(内 toto助成628,000円) 床暖房費 28,600円 他	
会議費	43,000	49,890	6,890	理事会・運営委員会参加者旅費 監査謝金等	
印刷費	100,000	0	▲ 100,000	パンフレット印刷費は令和5年度処理	
旅費、交通費	170,000	280,890	110,890	県大会参加旅費 3B体操交流会バス借上代(65,140円)	
通信費	10,000	9,530	▲ 470	事業の運営・開催等連絡経費(切手代、ゆうメール委託費)	
消耗品費	367,000	887,292	520,292	各講座運営用スポーツ用具、消耗品 等 中学野球ユニフォーム(109,800円) バレーボールユニフォーム(117,502円)	
保険費	666,500	798,350	131,850	スポーツ安全保険(スポーツ安全協会) スポーツ・文化法人責任保険(スポーツ安全協会) 21,000円	
奨励費	520,000	619,196	99,196		
協会登録料	250,000	341,196	91,196	スポーツ少年団登録料(132,000円) 競技団体登録料(209,196円)	
大会参加料	250,000	278,000	28,000	大会参加料	
その他	20,000	0	▲ 20,000		
役務費	63,000	40,126	▲ 22,874	LinkerBell運営費 各種の手数料	
雑費	1,000	12,200	11,200	レスリング全国大会祝金 他	
その他の経費計	2,856,500	3,731,360	874,860		
事業費計	6,196,500	7,083,610	887,110		

管理費

(単位：円)

科 目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘 要
1 人件費				
謝金	1,296,000	1,283,400	▲ 12,600	クラブマネージャー謝金 クラブマネージャー謝金
事務局員交通費	96,000	76,400	▲ 19,600	事務局員通勤・市内用務交通費(8200円)
人件費計	1,392,000	1,359,800	▲ 32,200	
2 その他の経費				
防犯パトロール	41,500	37,060	▲ 4,440	安全の集い 他の参加経費 パトロール交通費(車代8500円×回数) 隊員謝礼(81,000円クオカード)
旅費	50,000	29,050	▲ 20,950	会議・研修会等 参加者旅費
参加費・会費	100,000	42,000	▲ 58,000	県連絡協議会々費、県スポ協賛助金 あそ商工会会費 会議・研修会等参加者謝金
通信費	120,000	86,505	▲ 33,495	電話料金 76,421円 インターネット環境維持費 8,658円 法人運営連絡切手・メール便代 1,426円
消耗品	100,000	73,790	▲ 26,210	事務用具(プリンターインク、コピー用紙、印刷機消耗品、その他事務用品費)
備品費	0	0	0	
修繕費	10,000	30,966	20,966	コンピューター修繕費(25,466円) 印刷機修理費(5,500円)
役務費	5,000	2,730	▲ 2,270	銀行振込手数料 印紙代
慶弔諸費	38,000	46,357	8,357	鞍掛神社奉納金 祝意花束代 等
雑費	10,000	3,500	▲ 6,500	関東クラブ ネットワークアクション昼食負担金
予備費	849,000	0	▲ 849,000	

その他の経費計 1,323,500 351,958 ▲ 971,542

管理費計 2,715,500 1,711,758 ▲ 1,003,742

経常費用計 8,912,000 8,795,368 ▲ 116,632

次期繰越額 1,009,681

2022(令和4年)年度収支決算を上記の通り報告いたします。

令和5年5月29日

特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ理事長 清水武治

監 査 報 告

2022年度(令和4年度)会計監査

2022年度(令和4年度)特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブの会計事務について、令和5年5月1日(月)午前10時より、クラブ事務所において監査をした結果、正確に処理されており、収入・支出に関する帳簿・証憑書類とも適正な管理であったことを認めます。

令和5年5月1日

特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ

監事 中里 博行

監事 岩崎 克彦

○ 令和5年度の活動方針

- （1）年間を通し計画的に活動を展開し各講座の充実を図るとともに、イベント事業を通し会員相互の親交を深め、会員のメンバーシップを更に高める。
- （2）会員の自助・共助の絆により当法人の基幹となるチームの強化を図り、総合型地域スポーツクラブ「たぬまアスレチッククラブ」の周知を図り、当法人の活動に対する市民の理解と支援の輪を広める。
- （3）域内中学校の休日の部活動が「地域移行」するにあたり、運営主体となり積極的に支援し、学校との連携を図り、休日の部活動が地域スポーツクラブとして安全に安心して活動出来る環境を整える。

○ NPO法人たぬまアスレチッククラブの理念(活動目標)

- ・ スポーツの好きな大人が、子どものスポーツ活動を支援する。
- ・ スポーツを通して、地域の人々のコミュニケーションを深める。
- ・ スポーツで健康と豊かな心を育む。

○ 活動の具体策

ア 役員について

- （ア）社員（運営委員）と理事の連携強化を図り、役員個々のクラブの成長に対する熱い思いをクラブの運営に反映する。
- （イ）代表指導者のリーダーシップと指導者間の協力体制を強化し、運営委員・指導者・運営スタッフ間の連携を図り、充実した講座の運営に資する。

イ 会員の募集について （ア）クラブ会員・・・広報活動を強化し、会員の確保に努める。

- （イ）郵便振替用紙を用いた入会手続きにより、入会者の管理を徹底する。

ウ 賛助会員の募集

- （ア）一口1,000円で「無理なく」「毎年継続して」の方針を維持する。
- （イ）役員の努力により目標の400口達成を目指す。
- （ウ）会員募集用チラシ発行の経費として、一口10,000円の広告会員を30口目標に募集する。

エ 各講座の運営・・・令和5年度の主な留意点

（ア）新型コロナウイルス感染症対策に関して

- ・ 活動を展開するにあたっては、各施設の使用上のきまりを遵守するとともに、(公財)日本スポーツ協会及び関係機関から発信される「感染対策の指針」に留意し、各講座の実態に基づき安全安心を第一義として実施する。

（イ）新たに開講する講座

① 小学生を対象にしたサッカーチームの設立

- ・ 域内の小学生の「サッカーをやりたい」と云うニーズに呼応し、持続可能なサッカーチームを目指す小学生のサッカーチームを創設し、先に活動をしている「ACたぬまPRIMO」と一体感のある活動に向けた第一歩を踏み出す。創設には、佐野市立葛生義務教育学校の開校に伴う「葛生FC」チームの継続を確保するため、メンバー及び指導者を主体にしたチーム編成とする。そして、継続し安定した活動場所の確保に向けた努力をする。

② 小学生会員の学習支援として、小学4年・5年生を対象にした「算数教室」の開講

- ・ 小学生の教科で苦手意識の高い算数科を補習する機会として、会員を対象にした「算数教室」を開講する。

月2～3回程度 水曜日午後3時30分～1時間程度 於 田沼中央公民館 にて

- （ウ）活動会員について・・・活動会員の最低人数は20名とする。20名に満たない講座は「サークル活動」として維持する。(但し、ゴルフと和太鼓を除く)

※ サークル活動とは・・・指導者謝金支払の対象外。但し、スタッフとして1名依頼する。

・運営スタッフの配置・・・活動会員が40名を超えた場合は運営スタッフを配置し、指導者の負担軽減を図る。

(エ) 活動の回数・・・1講座につき週1回、年間35回以内とする。但し、エアロビクスは昼の部(水曜日)と夜の部(木曜日)を開講する。

・学童野球(小学生対象)と中学生野球(中学生対象)、ティーボール教室はそれぞれが35回以内とする。

・活動会員の要望による週1回以上の活動、年間35回以上の活動及び事務局職員の予算額を上まわる勤務については、NPO法人会計基準に準拠し、「ボランティア受入評価益」として処理する。

・コロナウイルス感染拡大や自然災害等の理由で活動休止等の措置を講ずる必要が生じた時には、理事会・臨時総会等を開催し適切に対応する。

(オ) 活動の曜日、場所・・・計画通りに行なえるよう会場の確保に努める。活動予定はホームページ及び会員向け連絡アプリ「Rinker Bell」にて周知する。

また、指導者や会員の意向で活動日・会場を変更する場合は、事務局への連絡を受けて事務局が所定の手続きを行う。

※ 指定管理者が管理する施設は、「使用中止」の書類提出が必要となるので事前に事務局と相談する。

(カ) 指導者謝金・・・当法人の規程に従い支払い事務を進める。

(キ) 消耗品費・・・予算の範囲内で対応する。大きな金額を要するものは、事前に相談し対応する。
但し、希望通りにならないことも十分にあり得るので、その場合は「受益者負担の原則」に従い対応してもらう。

(ク) 奨励費・・・申請により、規程に従い予算の範囲内で支援する。

・登録料

但し、スポーツ少年団員・指導者登録と3B体操協会登録を除く個人の登録に要する経費を除く 例 公認指導者資格や審判員資格の登録関係
競技団体への個人の登記や登録 等

・参加料(個人や個人戦を除く、チーム・団体戦の参加料に限る。)

・帯同審判員(サッカーの県リーグ戦を対象とし、市サッカー協会審判部から派遣された有資格の審判員に対し謝金一日5,000円を支払う。

・交通費は、大会参加、練習試合を含め受益者負担とする。但し、関東・全国大会規模への参加については別途協議し、理事会の承認を得た金額を支援する。

(ケ) 傷害保険の加入

・法人の賠償責任保険・・・(公財)スポーツ安全協会の「スポーツ・文化法人責任保険」に加入し、当法人の対人・対物事故等の損害賠償責任に対応する。

・会員の傷害と賠償責任保険・・・(公財)スポーツ安全協会「スポーツ安全保険」に加入し、会員の活動中の傷害・賠償責任に対応する。

オ イベント活動 ※ 絆りレーワンテンスハーフマラソン&親子ふれあいキッズファンラン大会開催
6月4日・日曜日 於 田沼グリーンスポーツセンター西 河川敷
スポーツ振興くじ助成金を活用 助成内定額 562,000円

※ 第1回NPO法人たぬまアスレチッククラブカップ学童野球交流大会

7月17日（月・祝）～29日（土）までで4日間

参加募集 64チーム（予定）

会場 KONOIKE グリーンフィールド 田沼総合運動場 他

スポーツ振興くじ助成金を活用 助成内定額 580,000 円

※ ゴルフ大会 7月4日・火曜日

※ バスハイキング 7月23日・日曜日 群馬県沼田市方面

※ 安足地区総合型SCフェスタ 10月15日・日曜日 於 アリーナためま

カ 研修会

（ア） 中学校の部活動を地域移行に関わる指導者の研修

※ 中学校の部活動を地域に移行し、地域クラブ化に関わる指導者は必ず参加

○ 期日 5月21日（日） 午前9時～正午

○ 会場 田沼中央公民館

○ 内容 ・佐野市が進める「地域部活動」の推進計画説明
・中学生を指導する上で配慮すべき点について 等

（イ） 室伏広治スポーツ庁長官講演会

※ 法人理事、各講座の指導者、運営委員、地域部活動指導者 は必ず参加

○ 期日 6月21日（水） 午後6時～午後7時30分

○ 会場 佐野市文化会館

○ 内容 ・中学校部活動の地域移行に関する国の考え方
・佐野市が設置する「スポーツ医科学センター」の役割について

（ウ） 体幹トレーニング講座「遊んで鍛える子どもの体づくり」… 小学生会員を対象に開催

※ 野球、サッカー、バレーボール、レスリング、バレーボール のチーム員は必ず参加

○ 期日 7月15日（土） 午前9時～正午まで

○ 会場 国際クリケット場

キ 理事会、運営委員会

（ア） 理事会

○ 第1回理事会 5月15日（月） 午後7時～ 於 田沼中央公民館

○ 第2回理事会 5月29日（月） 午後7時～ 於 田沼中央公民館
（通常総会）

○ 第3回理事会 9月4日（月） 午後7時～ 於 田沼中央公民館

○ 第4回理事会 1月29日（月） 午後7時～ 於 田沼中央公民館

○ 第5回理事会 2月9日（金） 午後6時～ 会場未定

（新年祝賀・役員懇親会）

（イ） 運営委員会

○ 第1回運営委員会 5月29日（月） 午後7時～ 於 田沼中央公民館

○ 第2回運営委員会 2月9日（金） 午後6時～ 会場未定

ク その他

- クラブ創設15周年を迎え、また、人が減り高齢化が進む中、総合型地域スポーツクラブとしての体制強化を図り、新たに求められる役割として認知度を高め、地域の人びとの健康や生き甲斐、コミュニティづくりに寄与できる法人に進化したいと思います。

そのために、多様化するスポーツ環境に柔軟に対応しつつ、会員一人一人のメンバーシップを一層高め、持続性の高い総合型地域スポーツクラブづくりに努めたいと考えます。

令和5年度事業計画

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会 議	理事会(総会) 運営委員会 実行委員会 等		会計監査 5/1 (月) 10:00～ 総会② 5/29 (月)	理事会① 5/15 (月)			理事会③ 9/4 (月)				理事会④ 1/29 (月)	理事会⑤ 2/9 (金) 運営委員会 2/9 (金)	
	スポーツ講座	① 子どものサッカークラスを開講した。 ② 子ども会員を対象にした算数教室を開講した。 ③ 各講座週1回 年間35回以内の開講を継続 ④ 中学校の部活動地域移行の活動は、田沼東中学校とあそ野学園義務教育学校合同部活動にて展開する。											
交流大会	桜を見る会 ハイキング 4/2 (日)			絆リレー・ワッ ソス・ハーフマラ ソ2023 6/4(日)	ゴルフ大会 7月11日 (火) 足利CC 多幸コース	学童野球 親善大会 7/17 (火・祝) 8/5	ガスワン カップ関東 大会 9/9～10	安足SC フェスタ 10/15 (日) DAIKYOアリーナ					
	スポーツ交流 大会等				バスハイキ ング 7/23 (日)								
視察・調査活動													
	研修会・研修 会の開催		地域部活動 指導者会議 5/11 (木)	室伏長官 講演会 6/21 (水)	子どもの体 幹トレーニング 7/15 (土)	安足SCフェ スタ委員会 8/19 (土)	安足SCフェ スタ委員会 9/30 (土)			安足SC連絡 協議会 12/20 (水)		地域部活動 指導者会議 2/未定 ()	
研修会等開催・参加	日体協・県体 協議会・研修 会等出席		地域部活動 指導者研修 5/21 (日)	地域部活動 指導者研修 6/21 (木)	安足SCフェ スタ委員会 7/2 (日)	安足SC連絡 協議会 8/6 (日)			関東プロ SCネットワー ク 11/11～12 (土・日)	安足SC連絡 協議会 12/3 (日)		県SC連絡 協議会 2/2 (土)	
	講習会・研修 会への参加								スポ少 スタート コーチ講習 11/25 (土)				
その他の活動								市地域安全 のつどい 10/未定					
			市スポーツ少 年団総会 5/18 (木)					伝統文化助 成和太鼓発 表会 10/15 (日)					

**たぬまアスレチッククラブ
事務局員労働条件通知書**

令和5年4月1日 クラブマネージャー 清水 武治 様	
NPO法人 たぬまアスレチッククラブ	
任 用 の 期 間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
勤 務 の 場 所	田沼グリーンスポーツセンター内 NPO法人 たぬまアスレチッククラブ事務局
従事すべき業務内容	NPO法人 たぬまアスレチッククラブの事務全般
始業、就業の時刻、休憩時間、所定時間外労働の有無	1 勤務時間 ・ 始業 午前9時00分 ～ 終業 午後0時00分 ・ 始業から終業の間の勤務時間3時間 ・ 一月60時間以内 ・ 年間720時間以内（超過した時間はボランティア益金として処理する） 2 休憩時間 （ 0 分 ） 3 所定時間外労働 （ 有 ） 但し、賃金の支払いは当法人謝金規程による。
週 休 日	定例日 毎週 土・日曜日、国民の祝日、 年末 12月25日 ～ 年始 1月8日
休 暇	年次有給休暇 （ 0 日 ）
賃 金	1 基本額 1時間当たり（ 950円 ） 2 任用期間内支給限度額 720時間を限度とする。 3 賃金加給 （ 無 ） 通勤費として1日 200円 4 賃金締切日及び支払日 毎月月末締め、翌月5日支払い 5 支払い方法 指定の口座振込
退 職	1 任用の期間満了を以て退職とする。 2 任用期間の途中で自己都合により退職する場合は、原則として退職日の14日前までに理事長に届け出る。
更 新 の 有 無	1 任用更新の有無 （ 有 ） 2 任用更新は次の基準を満たした場合とする。基準を一点でも満たさない場合、任用更新はしない。 ア 勤務成績、勤務態度及び業務内容に対する能力 イ 業務内容の進捗状況 ウ 次年度の予算配当の状況
そ の 他	1 社会保険の加入 健康保険（ 無 ）厚生年金（ 無 ） 2 雇用保険の有無 （ 無 ）
備 考	○ 以上は、理事会で決定する。 ○ 令和5年5月15日理事会裁定。 但し、令和5年4月1日～同年5月15日の期間は理事長専決処置として扱う。

令和5年度 収支予算編成方針（案）

1 はじめに

コロナウイルスの感染者の変動は、当法人の主力会員である児童・生徒と高齢者が最も影響を受けやすい傾向となっていた。しかし、直近は経済や社会生活が平常に近い形で動き出し、当法人への影響は少なくなるものと期待している。施設の使用休止や小・中学生の活動自粛もなく、会員数が元に戻るものと推測される。このことは、会費収入により成り立つ当法人の運営上明るい話題である。

しかし、社会経済は様々な要因が絡んで「値上げラッシュ」となっていて、その影響は事務局経費や消耗品の調達、大会参加料や登録料にまで及んでいる。

令和5年度は、会員数の回復に向けた取り組みを積極的に進めつつ、会費について再検討し、前年度の保険料負担に続き、諸経費の値上げに応じた会費の一律1千円増の予算編成にする。

2 収入の見込み

- 受取会費 大人会員300名 子供会員300名で予算化。
会費については、全ての会員一律に1千円の値上げをする。
- 賛助会費 ・個人協賛金(一口1,000円)を400口予算化。…各講座での積極的な依頼をお願いします。また、7月11日(火) ゴルフ大会を計画し80名の参加を見込んでいる。
・広報賛助金は、年度末に行う新年度会員募集パンフレット作成に対する協賛金とする。目標30社300,000円
- 受取助成金 ・スポーツ振興くじ助成金
恒例の絆リレーワンテンス・ハーフマラソン&親子ふれあいキッズファンラン大会 562,000円 新規事業として小学生軟式野球親善大会 580,000円の交付内定通知があった。
・伝統文化親子教室
文化庁より290,000円の交付決定(内示)があった。
・市スポーツ協会 20,000円を予算化
- 雑収入 佐野市スポーツ少年団事務局費として50,000円を予算化
- 委託費 本年度の「中学校部活動地域移行」については、田沼東中学校とあそ野学園義務教育学校の合同部活動を展開する。
市教委と総額5,995,000円(見積り額)で業務受託契約を結ぶ。内、一般管理費(業務委託料の10%)403,320円と人件費528,000円 の合計931,320円を委託費収益として予算化する。但し、予算書(案)は端数を除いた額で示す。
- 前期繰越 令和4年度の収支は、前期繰越額(1,139,351円)－129,670円で決算した。従って本年度の繰越額は、1,009,681円となる。

3 支出の見込み

ア 事業費

- 人件費 講師謝金は講座の開催回数35回で予算化。20名以上の活動会員の講座に謝金を支払い、40名以上の活動会員に対し1名の有償運営スタッフ配置の考えを踏襲する。尚、35回以上の活動に対する謝金は「ボランティア益金」として処理をする。
- 交通費 大会参加に要する旅費を支援してきたが、受益者負担に改める。但し、チームを代表して参加する代表者会議・監督会議・ルール改正の説明会等の研修機会への参加旅費はこれまで通り、当法人の旅費規程により支弁する。
- 事業運営費 スポーツ振興くじ助成は、事業経費の25%を自己資金で賄う必要があり、参加料、協賛金で補えるように努めるが、絆リレー273,400円 軟式野球親善大会251,000円を当法人の負担金として予算化する。
- 印刷費 会員募集パンフレット印刷代。
- 消耗品費 各講座からの希望品目を予算の範囲内で整備する。
- 保険料 対人・対物賠償や熱中症への対応が可能なスポーツ安全協会のスポーツ安全保険に全会員が加入する。
- 奨励費 大会への参加料・登録料を予算化。但し個人の登録料と交流・招待大会への参加料は受益者負担とする。
- 役務費 連絡網アプリの使用料 ⑤5,000×12月分

イ 管理費

- 人件費 ・事務局員費。年間従事時間を720時間とし、720時間を超えた分はボランティア益金として処理する。
・栃木県の最低賃金が改定されたことに伴い、1時間あたりの賃金を950円に改めて予算化する。
- 予備費 入会者数減に備え、予備費として1,290,500円を予算化した。

令和5年度 NPO法人 たぬまアスレチッククラブ収支予算書(案)

(収 入)

(単位: 円)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘 要	備 考
1 受取会費					
正会員受取会費	5,850,000	6,450,000	600,000	大人300人×14,000円=4,200,000円 子供300人×7,500円=2,250,000円	
賛助会員受取会費	200,000	400,000	200,000	1,000円×400口(ゴルフ大会参加者を含む)	
パンフレット印刷協賛金	250,000	300,000	50,000	10,000円×30口	
2 受取助成金					
スポーツ振興センター	628,000	1,142,000	514,000	スポーツ振興くじ助成金(絆リレー 562,000円 軟式野球親善大会580,000円)	
文化庁助成金	290,000	290,000	0	文化庁伝統文化親子教室助成金	
民間助成金	120,000	20,000	▲ 100,000	佐野市スポーツ協会 他	
3 その他の収益					
受取利息	9	19	10	預金利子	
事業収入	40,000	639,000	599,000	絆リレー大会運営費215,000円(賛助金100,000円・参加料115,000円) 小学生軟式野球親善大会大会運営費384,000円(参加料) 交流会残余金 40,000円	
寄付金	0	10,000	10,000		
その他の雑収益	60,000	50,000	▲ 10,000	佐野市スポーツ少年団事務局費 (50,000円)	
4 委託費	341,640	931,300	589,660	田沼東中・あそ野学園義務教育学校合同部活動委託費 (管理費403,320円、人件費528,000円)	
5 前期繰越金	1,139,351	1,009,681	▲ 129,670	前期繰越金	
合 計	8,919,000	11,242,000	2,323,000		

(経常費用)

(単位: 円)

事業費

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘 要	備 考
1 人件費					
講座指導者謝金	2,715,000	2,750,000	35,000		
運営スタッフ謝金	525,000	550,000	25,000		
サッカー審判員派遣費	80,000	80,000	0	県社会人リーグ帯同審判員謝金	
その他	20,000	100,000	80,000		
人件費計	3,340,000	3,480,000	140,000		

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘 要
2 その他の経費				
事業運営費	916,000	2,306,000	1,390,000	絆リレー大会運営費1,050,400円(100助成562,000円・賛助金100,000円・参加料115,000円・ TAC負担金273,400円) 小学生軟式野球親善大会1,215,600円(100助成580,000円・参加料384,000円・ TAC負担金251,600円) 床暖房費 40,000円
会議費	43,000	50,000	7,000	理事会、運営委員会開催経費
印刷費	100,000	100,000	0	会員募集パンフレット印刷代
旅費、交通費	170,000	120,000	▲ 50,000	事業旅費(ハイキング旅費負担 関東大会等参加旅費補助)
通信費	10,000	10,000	0	事業運営・開催連絡通信費(切手、ゆうメール委託費)
消耗品費	367,000	500,000	133,000	各講座消耗品費
保険費	666,500	800,000	133,500	傷害保険料(スポーツ安全協会) 法人賠償責任保険(スポーツ安全協会)
奨励費	520,000	620,000	100,000	
協会登録料	250,000	350,000	100,000	スポーツ少年団登録料 チーム登録料(個人登録は自己負担)
大会参加料	250,000	250,000	0	公認大会参加料(交流大会・招待試合等を除く)
その他	20,000	20,000	0	
役務費	63,000	70,000	7,000	LinkerBell運営費 等
雑費	1,000	20,000	19,000	

その他の経費計 2,856,500 4,596,000 1,739,500

事業費計 6,196,500 8,076,000 1,879,500

(管理費)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘 要
1 人件費				
謝金	1,296,000	1,368,000	72,000	事務局員謝金(¥950×60時間×12月=684,000円)×2人分
事務局員通勤費	96,000	96,000	0	事務局員交通費(¥200×20日×12月=48,000円)×2人分
人件費計	1,392,000	1,464,000	72,000	

2 その他の経費				
防犯パトロール	41,500	41,500	0	パトロール交通費 隊員謝礼 会議等出席謝金
旅費	50,000	30,000	▲ 20,000	会議・研修会参加者旅費
参加経費・会費	100,000	80,000	▲ 20,000	県連絡協議会々々費、県スガ協賛助金 研修会・懇親会等の会費 会議・研修会等参加者謝金
通信費	120,000	90,000	▲ 30,000	電話料金 インターネット環境維持費
消耗品	100,000	100,000	0	事務用具(プリンターインク、コピー用紙、印刷機消耗品、その他事務局物品費)
備品費	0	0	0	
修繕費	10,000	10,000	0	備品等修理費
役務費	5,000	5,000	0	銀行振込手数料
慶弔諸費	38,000	50,000	12,000	慶弔費
雑費	10,000	5,000	▲ 5,000	
予備費	849,000	1,290,500	441,500	予備費

その他の経費計 1,323,500 1,702,000 378,500

管 理 費 計 2,715,500 3,166,000 450,500

経 常 費 用 計 8,912,000 11,242,000 2,330,000

2023(令和5年)年度収支予算(案)を上記の通り提案いたします。

令和4年5月29日

特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ理事長

第12回

栃木県誕生150周年・たぬまAC誕生15周年記念大会

資料

1

「絆」リレーワンテンス・ハーフマラソン & 親子ふれあいキッズファンラン大会



大会趣旨

ワンテンスマラソンは、一人がマラソン競技の10分の1(4.2195km)の距離を走ります。「絆」リレーは、職場や学校の仲間5人でチームをつくり、ハーフマラソンの距離を、1本のタスキにチームの願いを込めリレーし、仲間とのコミュニケーションや相互理解を深め、より深い絆で結ばれるチャンスにして欲しいとの願いを込めた駅伝大会です。

また、親子ふれあいキッズファンランは、幼児から小学生までがその家族と「ファンラン」の考えで新緑あふれる旗川の河川敷を楽しく走り・歩き、私たちの生活にとっても関わりの深い旗川の魅力を味わってもらいます。

そして、大会の開催をとおり、地域の人々が笑顔あふれ、スポーツの力を活かした街づくりの一助にします。

「絆」リレーワンテンス・ハーフマラソン&親子ふれあいキッズファンラン大会は、NPO法人たぬまアスレチッククラブ発足の源である、地域のスポーツ愛好者が総力をあげて運営した来たマラソン・駅伝大会を現在のかたちにし、クラブ会員一人ひとりの「スポーツで地域を元気に」の想いを込め、賛同する多くの市民との協働により運営する大会です。

2019年10月の「令和元年東日本台風」で、地域の自慢であった山並みと清流が一変、甚大な被害が発生しました。このことは、古くから「山」と「川」の恩恵を受け生活をして来た私たちの意識が変化し、山や川が存在を身近に感じなくなってしまっていたことも一因ではなかったのかと思います。

そこで、広々とした河川敷でさわやかな汗を流し、子どもたちに杉の間伐材を利用した完走メダルを贈り、これまで以上に安蘇の山並みと清流を地域の誇りに感じられるような大会にしたいと思います。

日時

令和5年6月4日

参加申込締切

令和5年5月23日(火)まで

スタート時刻

10:00~

会場

栃木県佐野市 HONOIKE グリーンフィールド



栃木県誕生150年
みんなで創る、未来のまち



たぬまAC誕生15周年
地域の人が創るたぬまAC

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業

AED



田沼ロータリークラブ様ご寄贈の
AEDがランナーを守ります。



一生運のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group



「しょうが」を食卓に...

遠藤食品株式会社



読売センター田沼

□主催/NPO法人 たぬまアスレチッククラブ

□後援/佐野市 佐野市スポーツ協会 田沼ライオンズクラブ 第一生命保険 遠藤食品(株)
読売センター田沼 栃木南部よみうりタイムス(株)



第14回

NPO法人たぬまアスレチッククラブ

TACゴルフ大会要項

- 開催日 令和4年7月11日(火曜日)
- 場所 足利カントリークラブ 多幸コース
- 主催 NPO法人 たぬまアスレチッククラブ
- 日程 受付 フロントにて受付・スタート30分前までに済ませる
競技 8:28～ 多幸コース IN・OUT同時スタート(各10組)
閉会行事 今年も残念ですがレストランでのパーティーが出来ません。
従いまして今年もハーフ集計による表彰になります。
- 参加資格 ・ 心身共に健康でゴルフを愛好し、TACの活動を支援して下さる人。
・ 成人で男女を問わない。(児童・生徒は参加出来ない)
- 参加料 ・ 参加費 9,000円 (フロントでの精算時に一括納入です)
プレー費(税・昼食等込み)6,000円 賛助会費 1,000円 賞品代 2,000円
※ 足利CCのメンバーはプレー費が別料金の設定となります。高齢者減免有。
- 競技方法 新ペリア方式による
(競技方法の詳細を、申込み締切り後、参加申込み代表者又は個人に郵送します)
- 参加申込み
 - ・ 期日 6月30日(金)まで
 - ・ 場所 たぬまアスレチッククラブ事務局 佐野市戸室町1592-2
 - ・ 方法 下記申込用紙の各項目を、電話&FAX 62-9779
メール tanuma-ac@silk.plala.or.jpでお知らせください。
(直接事務局に持参しても結構です。月～金曜日の午前中対応可)
- ※ お一人での参加申込みも受付いたします。この場合は主催者で調整出来る組に入っ
てのプレーとなります。(2・3人での申込み者には調整をお願いします)
- ※ 申込み先着順にスタート希望時刻を承ります。
- その他 ・ 詳細はスタートリスト発送時に連絡致します。
・ プレー中の事故は自己責任でお願いします。主催者の行事保険への加入
はありません。

たぬまアスレチッククラブ ゴルフ大会参加申込み書

番号	参加者氏名	性別	連絡先(勤務先や住所)	電話	備考
1					
2					
3					
4					

地域クラブ活動について

1 令和5年度 各校の部員数

	田沼東中			あそ野学園義務教育学校			合計
	1年生	2年生	3年生	7年生	8年生	9年生	
陸上競技	15	14	19	16	20	11	95
野球				0	4	1	5
バスケ (男)	7	10	8				25
バスケ (女)	6	7	3	6	5	2	29
バレー (男)	5	3	10				18
バレー (女)	6	5	4	10	12	6	43
サッカー	8	2	12	4	9	9	44
テニス (男)	5	11	7	13	6	3	45
テニス (女)	8	5	4	7	4	3	31
卓球 (男)	8	6	6	19	6	7	52
卓球 (女)	4	9	14	1	3	9	40
剣道	4	8	2	1	5	6	26
吹奏楽	9	7	7	7	6	8	44

2 活動内容について

(1) 活動グループ (AグループとBグループに分ける)

	各学校で部活動実施する部活動	学校で地域クラブ活動
Aグループ	陸上競技部 女子バレー 男子バスケット (田沼東のみ) 女子ソフトテニス 男子卓球 吹奏楽	サッカー 野球 (あそ野のみ) 男子バレー (田沼東のみ) 女子バスケット 男子ソフトテニス 女子卓球 剣道
Bグループ	サッカー 野球 (あそ野のみ) 男子バレー (田沼東のみ) 女子バスケット 男子ソフトテニス 女子卓球 剣道	陸上競技部 女子バレー 男子バスケット (田沼東のみ) 女子ソフトテニス 男子卓球 吹奏楽

* 同じ活動日に学校で部活動を行っている部と地域クラブ活動を行っている部を組合せることにより、緊急時に対応できるようにしておく。

特定非営利活動法人 たぬまアスレチッククラブ

賛助会員募集趣意書

皆さまには、総合型地域スポーツクラブ 特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ の諸活動に特段のご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

たぬまアスレチッククラブは、国の助成を受けた「子どもの居場所づくり」事業としてスポーツ教室を展開しつつ三年間の準備期間を経て、平成二十年二月二十日に設立宣言を行い、総合型地域スポーツクラブの活動を開始しました。そして、より公益性の高いクラブをめざし、平成二十四年十月に特定非営利活動法人(NPO法人)の登記を済ませました。創設以来、関係のスポーツ協会や行政機関との連携を図りつつ今日まで活動を進め、創設十五年の節目の年を迎えました。

この三年間はコロナウイルス感染症拡大の影響により、計画した活動の全てを実施することが出来ず、大人会員の減少が続きましたが、子どもの運動不足を懸念する保護者の理解により子ども会員は増加し、当法人の理念である「スポーツ好きな大人が、スポーツ好きな子どものスポーツによる健全な成長を支援する」の具現化が継続されているものと自負をしています。

令和五年度は、子どもの学習支援として四・五年生を対象にした「算数教室」を開設します。また、小学校の閉校に伴い活動場所を失った子どものサッカーチームの継承、存続を図るため、新生チーム「AC Kuzuu FC」がリスタートします。

令和三年度から佐野市教育委員会より受託している佐野市立田沼東中学校の「部活動改革」の実践研究は、あそ野学園義務教育学校を加えた合同部活動を展開し、地域クラブ化への準備を加速させます。その為には、地域の信頼を高め、総合型地域スポーツクラブの役割とその期待の高まりに応えられる総合型地域スポーツクラブとして一層の充実を図りたいと考えています。

そこで、会員のニーズに応える活動を計画的に推進することも含め、必要な財源の確保が重要な課題であり、安定した財源の確保に尚一層の努力をしなければならないと捉えています。

つきましては、年度開始にあたり協賛会員を募りたいと思います。皆さまには、特段のご理解とご支援を賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。

令和五年三月吉日

特定非営利活動法人 たぬまアスレチッククラブ理事長 清水 武治

令和5年度
NPO法人 たぬまアスレチッククラブ 事務分掌表

担 当	分 掌 事 務
清 水 クラブマネージャー	○ 理事会（総会）・運営委員会の運営に関する事。 ○ 会計の事務に関する監理と指導に関する事。 ○ 活動施設の確保及び施設管理者との連絡調整に関する事。 ○ 活動計画に関する指導者との連絡調整に関する事。 ○ 栃木県、・安足地区及び佐野市の総合型地域スポーツクラブ連絡協議会との連携に関する事。 ○ 佐野市スポーツ協会、（公財）栃木県スポーツ協会、（公財）日本スポーツ協会が行う事業の推進と連携に関する事。 ○ 市スポーツ推進課、市教育委員会、県教育委員会（とちぎ広域スポーツセンター）の指導と連携に関する事。 ○ 佐野市立田沼東中学校・あそ野学園義務教育学校の「部活動地域移行、地域クラブ化」に関する事。 ○ 賛助会員、会員募集チラシの作成に伴う協賛金の募集に関する事。 ○ クラブ主催事業の計画と実施に関する事。 ○ スポーツ振興くじ助成に関する事 ○ ホームページ、連絡網アプリの運用に関する事。 ○ 社会教育団体や関係競技団体、関係機関等との連絡調整に関する事。 ○ 法人の運営事務に関する事。
儀 同 サブ・クラブマネージャー	○ 会員の入退会の管理(名簿管理)に関する事。 ○ 会費及び助成金、補助金の収支に関する事。 ○ 登録料、参加料、大会参加旅費の支払いに関する事務 ○ 活動に伴う備品・消耗品等の調査と発注、收受・配布等に関する事。 ○ 市民税、県民税の減免措置に関する事。 ○ 伝統文化親子教室の推進に関する事。 ○ 活動記録簿の整理と活動実績の集計・調査に関する事。 ○ 賃金、謝金の支払い事務に関する事。 ○ 指導者の所得税源泉徴収に関する事。 ○ スポーツ安全保険の加入手続きと事故申請に関する事。 ○ 関係機関からの実態調査やアンケート調査の要請に回答すること。 ○ クラブ備品、消耗品の管理に関する事。